

夢のある劇を 子供たちに

大館ファミリー劇場の活動



リポーター 長崎誠子さん
(萩野台1区)

ここ数年、同居している息子夫婦が、孫たちを連れて年に数回夕方ころに出かけるようになりました。ちょっと気になったので、いったいどこへ出かけているのか尋ねたところ、「大館ファミリー劇場」という所へ行っているのとこの話を聞くと、大変すばらしい活動をしていると感じましたので、運営委員長の田山さんからお話を伺い、「大館ファミリー劇場」の活動についてリポートします。

大館ファミリー劇場とは

大館ファミリー劇場は、親子・家族で劇を鑑賞する市内唯一の団体です。平成五年、子供たちが心身ともに健やかに育って欲しいという願いをこめて市内のお母さんたちが結成。以後、毎年三〜四回プロの劇団を呼んで楽しむ例会を開催しています。

よく子供と一緒に演劇をする(舞台上立つ)団体と勘違いされませんが、子供向けの優れた演劇や人形劇などを親子で見えて楽しむ活動(例会)を中心に、サマーキャンプや劇場まつりなどの活動も行っています。

また、この会は会員制という方法で運営し、会員の月会費ですべてやりくりしています。このため、活動のほとんどは会員自身の手で行われており、入場チケットやポ

スターの作成はお母さん、会場設営はお父さん、チケットの半券切りは子供たちが中心となって行っています。月会費は大人も子どもも一律八百円としており、大人は決して子供の付き添いではなく会員一人一人が主役と考えています。

その活動は

年に三〜四回開催する例会は、プロの劇団による優れた舞台芸術を楽しむ活動です。幼児向けの楽しい舞台劇から人形劇、パントマイム、個人サーカス、アンデルセン物語のアカペラ、さらにはさまざまな民俗楽器の演奏会など毎回趣向を凝らして実施しています。

市内の公民館や広域交流センター、サンクレアなどを会場に、午後六時三十分から一時間程度の活動です。親子で同じ劇を見て、一緒に感動する。プロの役者さんの息遣いや汗を間近に感じる。こんな貴重な経験を親子で共有することが例会の目的です。

例会以外の交流を深める活動としては、「劇場まつり」を春と秋の年二回、長木川河川敷で開催。ふろしき市(子供たちによるフリーマーケット)やシャボン玉やスライム作りを楽しみます。また、夏休みには大館少年自然の家でサ



マーキャンプを行い、花火や川遊びなどのフィールドアスレチックで自然と親しみます。さらに、会員のお母さんたちによる子育てサークル・ザウルスでは、「カントリリース」や「イチゴ大福」作りを行っています。会員同士の交流を深めながら、普段家族だけでは経験できない活動を進めています。

間近に見る演劇

昨年九月に行われた人形劇「赤ちゃんが来る」を私も鑑賞させていただきました。会場は上川沿公民館の体育館で、体育館の床にセットされた舞台の前にはゴザが敷かれ、子供たちがその上に座り、大人たちは子供たちを囲み後方で椅子に座って見るというスタイルでした。

市民文化会館ホールのように、